

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年3月2日（月）

2 確認箇所

- ・ 6号機タービン建屋地下1階、1階
- ・ 1 / 2号機共用排気筒（1 / 2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

- (1) 6号機タービン建屋滞留水移送ラインの新設ポリエチレン管の供用後の状況
- (2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況

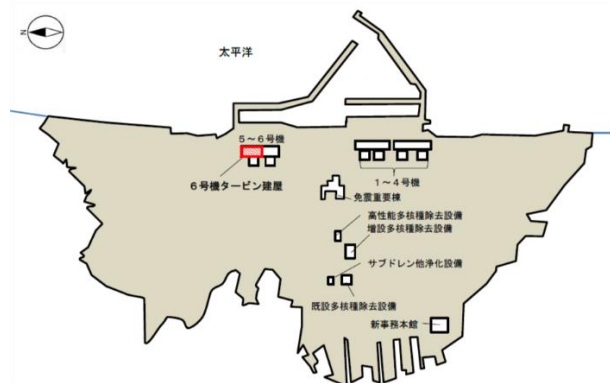
4 確認結果の概要

- (1) 6号機タービン建屋滞留水移送ラインの新設ポリエチレン管の供用後の状況について

令和元年9月17日に発生した6号機タービン建屋滞留水移送ラインからの水漏れについて、前回（[同年9月30日](#)）現場を確認するとともに、再発防止対策について東京電力から聴取したところ、移送ラインをこれまでの耐圧ホースから新たに耐久性の高いポリエチレン管（以下、「PE管」という。）へ変更するとのことであった。

PE管は前回確認時には敷設されていたが、供用開始前であったため、本日はその後の状況を確認した。

- ・ 前は耐圧ホースとPE管がほぼ並行して敷設されていたが、本日はPE管のみが敷設されており、耐圧ホースは撤去されていた。（写真1）
- ・ また、タービン建屋1階東側のPE管には前は閉止フランジが取り付けられていたが、本日は滞留水をFタンクエリアへ移送する既設配管に接続されており、PE管の供用が開始されていた。（写真2）
- ・ 目視確認した範囲では、PE管からの漏えいはなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
 今回 (令和 2 年 3 月 2 日) 撮影



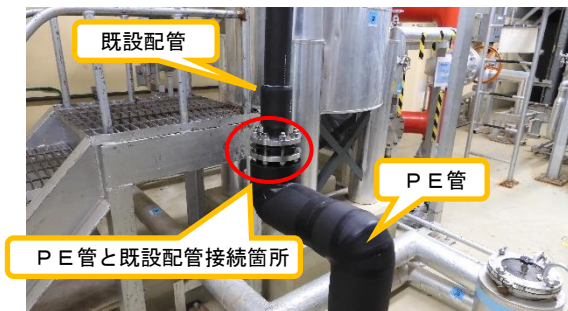
(写真 1 - 2)
 前回 (令和元年 9 月 30 日) 撮影



(写真 1 - 3)
 今回 (令和 2 年 3 月 2 日) 撮影



(写真 1 - 4)
 前回 (令和元年 9 月 30 日) 撮影



(写真 2 - 1)
 今回 (令和 2 年 3 月 2 日) 撮影



(写真 2 - 2)
 前回 (令和元年 9 月 30 日) 撮影

(2) 1 / 2 号機共用排気筒解体工事の状況について

1 / 2 号機共用排気筒解体工事は昨年 8 月 1 日から作業を実施しており、排気筒上部の約 60 m を 23 ブロックに分けて解体する計画のうち、13 ブロック目の筒身の解体が 3 月 1 日に完了し、本日は 12 ブロック目の鉄塔の解体作業が実施されたため状況を確認した。

なお、東京電力によると当初は12ブロック目の鉄塔を解体後に13ブロック目の筒身を解体する計画であったが、作業計画の見直しにより先に13ブロック目の筒身を解体したとのことであった。

- ・現場確認時には排気筒頂部に解体装置が設置されており、南西側の手摺切断のための位置合わせが行われていた。(写真3)
- ・切断された13ブロック目は、上部をシート養生した状態で2号機原子炉建屋西側ヤードに仮置きされていた。(写真4)



(写真3)
排気筒頂部の状況
10時30分頃撮影



(写真4)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。